

# カミツキガメの生態と沼の汚染を観察 外来生物から印旛沼を守ろう



## いんざい 自然探訪

高木さん。

今月27日(日)10時から

市川市国府台近辺でまち歩きワーケーションが開催される。京成国府台駅改札前9時50分集合。江戸川土手から里見公園、回

環境保全に対する意識の高揚を図り、

自然環境への関心を高めることを目的に「いんざい自然探訪」が本年も夏

向院カフェテラスまで2・5キロのコースを歩く。

参加費300円(資料・保険代)。別途カフェ飲食代500円。申し込みはFAX兼用047-70

5・4817(高木さん)

休み期間に開催された。7月29日の第3回「印旛沼でカミツキガメを見てみよう」では30名ほどの親子が体験学習に参加した。

印旛支所で「カミツキガメ」と「印旛沼の汚れ」

について県生物多様性センターの講師から説明を受けた。その後西印旛沼

で、実際にカメ防除作業を見廻り、その生態と危険性について印旛沼漁協の人と質疑応答。沼の水質検査も参加者の児童が

実際に測定し、深刻な水質汚染の現状を学習した。

印旛沼は印旛捷水路を介して北印旛沼と西印旛沼に分かれ、総面積は成田空港とほぼ同じ。沼の汚れに関しては全国ワ

スト5の常連だ。直近3年では当沼が汚染度ワースト1位で、2位はお隣の手賀沼。

汚染の主原因は外来生

物の侵入増殖で、外来動植物が水の浄化を助ける在来固有種を根絶やしにして外来植物が沼面を覆つて沼水の代謝を阻止しているとのこと。

その代表で特定外来生物に指定されているカミツキガメは、北米南米原産の雑食動物であり、漁具損壊や漁獲物捕食など

の被害だけでなく、わが国固有の動植物を絶滅させる勢いで増殖中だ。

漁協では連日、籠ワナを仕掛けで捕獲しているがその量は年間1000匹にも満たない。同沼

漁協では固有種を守る根本的対策を県と相談しているが地道な捕獲作戦に頼っているのが現状だ。

漁協では固有種を守る根本的対策を県と相談しているが地道な捕獲作戦に頼っているのが現状だ。

### ●犬猫の譲渡会(雨天実施)

毎週日曜11時~14時、我孫子市役所駐車場にてameblo.jp/abikoi24sunday/wamekodai3.blog.fc2.com 080-8723-9550(吉原)